

社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会

令和2年度事業報告

(実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

もくじ

もくじ	•••••	p 1
概要	•••••	p 2
① 総務係	•••••	p 3
② 地域福祉係	•••••	p 3～4
③ 相談支援係	•••••	p 4～5
④ 障がい相談	•••••	p 5
⑤ 介護支援係	•••••	p 6
⑥ 訪問介護係	•••••	p 6
⑦ 訪問看護係	•••••	p 6～7
⑧ 通所介護係	•••••	p 7
⑨ 地域包括	•••••	p 7～8
資料編		
1 地域福祉事業	•••••	P 9～P 18
2 ボランティア活動センター	•••••	P 18～P 26
3 相談支援	•••••	P 26～P 29
4 障がい相談支援事業	•••••	P 30～P 31
5 権利擁護支援	•••••	P 32～P 34
6 介護保険事業	•••••	P 34～P 40
7 法人運営	•••••	P 41～P 49
8 共同募金運動	•••••	P 49～P 50

概要

新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済状況の混乱と停滞の中、本会の事業活動も中止や規模の縮小を余儀なくされ、大きな影響を受けました。

そのような状況の中、地域福祉・相談支援・介護サービス・法人運営それぞれの部署は、これまでに経験したことのない困難に直面し、様々な対応が求められましたが、勤務体制やサービスの提供方法を模索し工夫することで、サービスの質が極力低下しないよう感染防止に努めて事業を継続してまいりました。また、事業活動を中止・延期した場合であっても、それに替わる対応として、個別の相談対応、情報収集、情報発信に努めました。

しかしながら、こうした見えない災害と言われる状況下において、「生活福祉資金特例貸付」を担当する部署では、通常の人員・勤務体制での対応が厳しい状況となりました。

その後、令和2年4月から概ね2ヶ月間の緊急事態宣言が解除された6月以降は、国、兵庫県及び芦屋市の感染症対策ガイドライン等に基づき、事業の再開に取り組んだ結果、秋以降は落ち着きが見られ始めました。また、令和3年1月に発令された2回目の緊急事態宣言の時は、1回目より混乱も少なく、感染症対策を講じた上で、少人数に制限や、オンライン会議への変更することによりスムーズな対応ができました。

令和2年度を振り返りますと、感染症という見えない災害下における事業継続（BCP）のために必要な体制についての教訓を得ることができました。今後、新型コロナウイルスによる感染症拡大が終息するまで、同様の対応が繰り返し求められると考えられることから、介護・相談支援の現場や地域住民と協働する場面において、より正しい知識と適切な判断をもって事業を維持しなければなりません。

各部署でできる取組も重要ですが、各部署間の連携を強化することで、そこから得られる相乗効果により、災害対応だけでなく多様化する地域課題の解決力を高めていく必要があります。法人全体が一丸となって事業継続に必要な体制づくりに取り組んでまいります。

令和3年4月には、改正社会福祉法が施行され、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築にも取り組まなければなりません。また、令和3年度は第7次地域福祉推進計画の最終年度でもあり、令和4年度から始まる次期計画の策定年度となります。令和2年度に経験したことを含めて、次年度以降の新たな制度・施策に対応した事業・活動を計画内容に反映してまいります。

各部署の概要については、以下に記載します。

① 総務係

総務係では、統合後の旧社協・旧福祉公社の休日勤務や時間外労働等の労務関係の整理に取り組んできました。同一労働同一賃金についても整理を行いましたが、次年度も引き続き取り組んでまいります。財務会計については、会計基準及び経理規程に則り、明確な拠点区分・サービス区分の整理を行いました。

コロナ禍における働き方についても検討を行い、在宅勤務、直行直帰勤務、時差出勤等の各部署の特性に合わせた勤務体制を整備しました。また、昨年度から一部の部署で取り組んできたタブレットの活用など業務効率向上のためのICT化の取組は、コロナ禍においてオンライン会議や在宅勤務が求められたことから飛躍的に取組が進みました。

人材育成では、今年度の新規採用職員について、採用時研修、1か月面接、3か月面接と実施しましたが、コロナ禍の影響もあり継続的な面接等が実施できず、内容についても課題が残りました。

統合後の組織全体としても、職員を育てる環境づくり、フォローワーク体制を作っていくことが今後の重要な課題と言えます。

令和2年1月に立ち上げた人財育成プロジェクトチームでは、職員研修体系を作成するための職員アンケートを実施しました。引き続き、アンケート結果に基づき検討してまいります。

アクションプログラム推進協議会では、一つの自治会から相談のあったICTを活用した見守り活動の手始めとして、9月からは高齢者と高校生がマンツーマンでスマホの使い方を教え合う「スマート力フェス」を実施しました。2度目の緊急事態宣言が発令された時は収集が難しいため、Zoomで集会所と高校をつなぐ交流会に切り替え、コロナ禍で集まれなくともつながれる、新たなつながりづくりの展開の一歩となりました。

また、つながろうプロジェクトを企画し、コロナ禍においても取り組める幼稚園と高齢者施設との交流を実施しました。ベンチプロジェクトでは、茶屋之町自治会で2台目のベンチを設置することができました。

② 地域福祉係

地区福祉委員会活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定例会をはじめとした高齢者のつどい事業、生きがいデイサービスなど様々な地区活動が中止になりました。緊急事態宣言解除後、活動を再開しましたが、会場等の定員の制限等によりコロナ禍以前の状態には回復していません。

しかしながら、会食を伴う高齢者のつどいが開催できなくなったことを受けて、高齢者訪問事業の対象者を広げて安否確認や気にかけていることの働きかけを実施したことで、各地区福祉委員会において訪問活動の大切さと有効性を改めて認識できることから、積極的に取り組まれるようになりました。他方、福祉推進委員と民生児童委員が訪問したことにより、コロナ禍で外出が制限される中、対象者となる高齢者の皆様からは大変喜ばれました。

また、高齢者のつどいを含めて、普段「集まる」場に参加できない方と顔を合わせる機会も作ることができました。

地域発信型ネットワークでは、地域ケアシステム検討委員会において、みんなの「気づき」が専門職の支援につながるように「気づきのポイントチェックシート」を作成しました。次年度以降、地区福祉委員会を中心に配布していく中で、その有効性を実証していきます。

また、昨年度の複合多問題ケースを多機関協働で対応する仕組みづくりのために試行的に取り組

んだ「支援チーム会議」は、課題が残されていましたが、今年度は社協内部の相談機関担当係長（福祉センター内）が定期的に集まり検討を重ねてまいりました。令和3年度には「社協内部支援チーム（仮称）」として、複合多問題ケースの支援協働と進捗管理に取り組んでまいります。

copeこくべとの協働による移動店舗の実施については、昨年度に引き続き各自治会と協議を行った結果、今年度は3カ所で開始することができました。外出困難な高齢者やコロナ禍で外出を控える市民にとって、買い物をする機会とその波及効果としてコロナ禍で会えなかった人と会える機会ができたことは、地域にとっては大きな資源の一つとなりました。今後は、生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカーが定期的に関わることで、一つのコミュニティとして機能するよう継続的な支援に取り組んでまいります。

ボランティア活動センターは、緊急事態宣言により保健福祉センターの貸室利用と同様の利用制限を行ったことから、登録ボランティアグループの活動が休止となり様々な活動に影響が出ました。

福祉学習では、市内小中学校が休校となった時期もあり、依頼件数は昨年度より大きく減少しましたが、実施するにあたり車いす体験やアイマスク体験等は地区福祉委員会の協力も得られ、小中学生と地域の方々との交流の機会にもなりました。

中学生福祉ボランティア学習は、施設訪問や調理実習は中止しましたが、内容を変更し期間も短縮するなど感染症対策を十分講じた上で実施したことで、参加した生徒の皆さんは安心して取り組むことができました。

認知症サポーター養成講座も、コロナ禍の影響で依頼及び受講者が減少したため、次年度からはオンライン開催も含めて実施方法等について検討してまいります。

③ 相談支援係

総合相談窓口での相談は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほぼすべてが生活福祉資金特例貸付に関するものでした。

平均約30件/日の問合せと平均約10数件/日の申請があり、電話対応と窓口対応に追われ、総合相談・生活困窮者自立相談支援機関の職員3名での対応が限界となったことから、事業の中止もしくは規模縮小をしている他部署からの応援職員10名と臨時的任用職員1名を増員し総勢14名体制で対応しました。

生活福祉資金特例貸付については、段階的に要件が緩和されたことなどにより、窓口で対応する職員も混乱を避けられませんでした。また、不特定多数の申請者と対面することによる感染リスクに不安を感じるとともに、相談者からは激しい暴言を浴びせられるなど職員の精神的負担は想像をはるかに超えるものでした。

令和3年3月末現在、緊急小口資金863件、1億5,614万円、総合支援資金898件、7億1,025万円、住居確保給付金148件（再支給含む）となっています。

生活困窮者自立相談支援では、今後、貸付を受けた利用者や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた方への国等からの支援策がなくなった後、経済的困窮状態から回復するためには時間が必要することが想定されるため、生活再建支援や就労支援等が一層必要になることが予測されます。

特に、高齢で職を失った方は再就職が難しいことから生活の回復も困難であることが考えられます。さらに、今回の貸付相談の中で市内在住の外国人も多く、また、世帯の中にひきこもりの中高

年の方がいる世帯も多くあることがわかりました。外国籍の方への適切な情報発信と具体的な支援、ひきこもりの方も含む社会的に孤立している方への支援を関係機関や地域住民とどのように連携して考えていくべきかが今後の課題と言えます。

そのような中、コロナ禍で困窮する世帯支援として、コープこうべからの食材提供、国際ソロプロミスト芦屋による「ほほえみ支援基金」設立、廃業された靴屋からの在庫提供、フードドライブの常設化など多くの団体から支援を得られたことで新たな仕組みにつながったことは大きな成果となりました。

権利擁護支援では、福祉サービス利用援助事業及び権利擁護支援センター業務を実施していますが、いずれも相談件数は例年より多くなってきています。新型コロナウイルス感染症の影響が直接の要因ではありませんが、精神的不安による相談が多くありました。また、介護相談員派遣事業は高齢者施設が面会禁止等の対応を取られたため事業が実施できませんでした。

コロナ禍において、今まで福祉分野とは無縁であった世帯が抱えていた潜在的な課題やコロナ禍で生じた新たな課題などが浮き彫りになりました。今後、単一の相談窓口による支援では対応できない複雑・多様化した課題を抱える世帯が増加することが予測されることから、分野を超えたさまざまな相談機関や支援機関が協力し、困りごとを抱える世帯へ目を向け、相談を促し、適切な支援が提供される仕組みづくりと課題に対する共通の認識に基づいた取組が必要とされます。

④ 障がい相談

令和2年度上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言やその後のコロナ禍対策に追われる半年でした。緊急事態宣言発令中は基幹相談支援センターと相談支援事業において、ソーシャルディスタンスを意識して福祉センター1階の勤務者数を半数とし、それ以外の職員を別の会議室で業務を行うなどの分散勤務に取り組みました。

緊急事態宣言解除後は、必然的にオンライン会議の必要性が高まつたことから、基幹相談支援センター主催で市内障がい相談員を対象に外部講師を招いた「オンライン会議講座」を実施したこと、研修や事例検討会がオンラインで参加できるようになりました。

さらに、芦屋市内の障がい分野の地域課題を話し合い、課題解決を行っていく自立支援協議会においても、コロナ禍の影響で、実務者会、専門部会ともに当初の予定より2~3ヶ月遅れての開始となりました。実務者会では、現在の実務者会、専門部会の機能・役割について検討し、専門部会での取組期間や評価機能について協議しました。専門部会では、障がい者施設におけるボランティア活動の担い手養成を出発点として、地域啓発、居場所、人材確保へとつないでいく取組を始めました。今年度は、ボランティア活動センターと協働で、ボランティア活動の啓発動画の作成にも取り組みました。さらに、精神科病院等からの地域移行を促進するため、退院後の地域生活を紹介した動画や事業所説明会（まるっと説明会）の案内プロモーション動画にも取り組んでいます。動画活用のニーズが高まっていますが、動画を作成できる職員が少ないため、ICT活用は今後の課題と言えます。

一方、相談業務では特に新規の福祉サービス利用のための相談が入ってきていますが、相談支援専門員が不足しているため、新規相談を受け付けてから実際に計画を作成するための初回面談まで1か月から1か月半程度掛かっているため、芦屋版計画相談マニュアルを作成することによる相談業務手順の統一と、市内障がい相談員が集まる相談支援連絡会においてネットワークを構築することにより相談員同士の情報交換や課題を共有することで職員が育つ仕組みを作っていくことが課題と

言えます。

⑤ 介護支援係

令和2年度はコロナ禍において、病院等に入院すると利用者が家族との面会ができないことから、病状が重いにも関わらず退院を希望するケースが目立ちました。そうしたケースでは、医療機関との連携を密に取ることで迅速に対応できました。

令和3年度の報酬改定においても自宅での看取りや、医療介護連携についての評価に重点が置かれているため、今後も利用者や家族の多様な希望に寄り添えるケアプラン作成に取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、在宅勤務、直行直帰勤務等の柔軟な勤務体制を導入したこと、ケアマネジメント業務に支障なく、通常どおりの事業を継続することができました。さらに、新しい介護ソフトの導入やタブレットの活用等による業務のICT化が進んだことで、医療機関やサービス提供事業所とのスムーズな情報共有等が図れました。今後も、ICTを活用し、ケアマネジメント業務の質の向上に努めてまいります。

他方、芦屋市介護サービス事業者連絡会や芦屋市ケアマネジャー友の会の役員・委員を務めることで、事業所内外の人材育成に貢献しています。特に、このコロナ禍においては、ICT活用によるZoom活用研修等を実施することで、これから求められるオンライン会議等にも対応できるスキルアップにも努めました。

⑥ 訪問介護係

訪問介護事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入院する方や利用控えがあったことや、訪問回数の多い利用者の入所や死亡が相次いだことによりサービス提供回数が大幅に減少しました。しかしながら、新規利用者を積極的に受け入れたことや既存ケースでも訪問回数を増やしてほしいという利用者のニーズに対応した結果、稼働率の減少を低く抑えることができました。

他方、障がいのある方の自立支援や移動支援では、コロナ禍の中での外出自粛により利用回数が激減しました。

市委託事業の認知症見守り支援・子育て支援は、新規の利用者もあり当初の目標は達成できました。

ヘルパーの人材育成については、コロナ禍の中で直行直帰勤務を導入したことで職員が揃う機会が減少し内部研修を見送ることになりました。さらに、外部研修の開催も少なく参加できませんでした。今後はオンライン研修等の情報収集により研修の参加を促進しますが、介護技術等オンラインでは難しい内容もあるため、収集型とオンライン型の研修を併用して取り入れていきます。

また、人材育成については、兵庫県ホームヘルプ事業者連絡協議会の理事を務めることより、県内の情報共有や研修計画に携わるなど、直接援助以外でも能力・資質向上に役立てることができました。今後、地域貢献等も視野に入れて様々な協議会等にも参加してまいります。

⑦ 訪問看護係

コロナ禍の影響により、医療保険及び介護保険の4・5月の訪問件数は激減しました。

活動制限が緩和される中、病院での面会制限等の理由により在宅での看取りを希望される利用者が増加したため、ターミナルケア加算算定数も増加し、年間在宅看取り数21件（内ターミナルケア

加算算定数は17件)となり、次年度からは強化型ステーションⅡを取得できるようになりました。

介護保険の利用者では、9月にリハビリスタッフを増員したことを利用者が増加し収益を上げています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため勤務体制の見直しを図り、直行直帰勤務を導入しましたが、昨年度からICT化を図り、電子カルテ等を利用してましたことからスムーズに移行することができました。さらに、朝礼等の申し送りや情報共有の内部連携、クリニックや施設等の外部連携もタブレットによる遠隔で行うことで効率的に業務を遂行することができました。

学生実習でもZoomを使用した講義やカンファレンスを行ないました。

⑧ 通所介護係

新型コロナウイルス感染症の影響によりデイサービスの利用控えが事業展開に大きく影響しました。特に、総合事業通所型サービスの利用者や軽度の方の利用控えが顕著でした。

緊急事態宣言時と利用者に濃厚接触者が出た時との2回に分けて利用控えが大きくみられ、8月以降は復調傾向ではありましたが、冬季の利用者の体調不良等による利用者数の減少も大きく影響しました。

デイサービスの運営においては、感染予防対策を徹底して行い、オゾン発生器・加湿・アルコール消毒・換気の徹底等環境整備に留意しながら運営を続けてきました。また、プログラムにおいてはコロナウイルスの感染予防のためにボランティアの受入れ中止、外出プログラムの中止、地域との交流行事も夏祭りの縮小やコミスク運動会への参加を中止するなどデイサービスでのプログラムに大きく影響が出ました。

そのような状況下ではありました、訪問看護係の理学療法士とも協議しサービス利用時間内に体操の時間を増やすなどの工夫を行い、利用者の運動量を増やしフレイル予防に努めました。

中重度の利用者の受け入れでは、職員のスキルアップを目指して、ケアマネジャーからの情報収集や医療スタッフと介護スタッフとの協議を行うなど、事業所全体で受入体制を整える努力を積み重ねてきました。

⑨ 地域包括

地域包括支援センターの中核的役割とも言える総合相談支援業務は、コロナ禍により一時期相談実件数が減少しましたが下半期には増加に転じ最終的には例年と変わらない件数でした。相談延人数については昨年度よりも約1,000件増加しています。これらの相談方法では電話相談が増加していることから、今後は訪問面接以外による高齢者の実態把握の方法を模索する必要があります。

総合相談支援業務と並行して役割発揮が期待される地域ネットワークの構築については、同じくコロナ禍の影響を受け地域での行事やイベントが急減しました。インターネットによる情報を得られにくい地域の高齢者、いわゆる“情報弱者”に対する情報発信の機会を逸したため広報誌「せいどうニュースレター」を発行し、福祉推進委員や他部署のバックアップを受けて精道中学校区内の全戸に配布することができました。

昨年度からの課題であった地域ケア会議の開催については、地域住民の皆様や民生委員にご参加いただき、支援が必要な方などの課題解決につながっています。

基幹的業務では、従前どおり4つの地域包括支援センターの事業協働化を推進してきましたが、コロナ禍により参集による会議や研修が相次いで中止となったことから、Zoomを活用した研修を急きょ企画して実施し、その後はオンライン会議による連携と協働の取組を展開しました。

消費者被害の撲滅をスローガンとして、昨年度実施したケアマネジャーを対象とした消費者被害に関する実態調査をもとに、高齢介護課、消費者センターと事業所等のリアルタイムの情報共有のしくみの確立を検討しました。

今年度より新たに組織化した「多職種連携促進チーム」では、芦屋市における多職種連携、特に医療・介護の連携が求められる看取りのケアに焦点を当て、市立芦屋病院の協力も得て、「緩和ケア・ターミナル期における医療介護連携研修（3月18日）」を開催いたしました。

介護予防ケアマネジメントマニュアル作成チームでは、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の一部委託に必須である介護予防ケアマネジメント研修において、コロナ禍でも活用できる動画マニュアルの作成に取り組みました。

生活支援体制整備事業では、コロナ禍で停滞している地域活動の再開に向けて、各圏域の地域支え合い推進員と活動場所や実施方法などの課題を共有したほか、ボランティアや物資のマッチングに努めました。

認知症地域支援推進員等配置事業では、認知症の方や家族の声から必要な社会資源や支援ネットワークを検討することを目的に「認知症を考えるあしやの会」を令和2年8月、令和3年3月に2回開催しました。今後は当事者同士の相互サポート組織として成熟させていきたいと考えています。

令和2年度を総括いたしますと、未曾有のコロナ禍において、地域住民同士、地域住民と専門職が対面であつまることができなくなった状況の中、日常的なつながりをどのように担保し、社会福祉協議会の在り方と取組を検討していくことが最大の課題と言えます。

1 地域福祉事業

○地区福祉委員会活動 [福祉推進委員数165人(令和3年3月31日現在)]

地区	月日等	活動	内 容	参加人数 (人)
精道地区	4回開催 隨時	地区福祉委員会 訪問活動	活動内容の協議等 各町で実施	94
	11月30日	福祉学習支援	精道小学校（車いす）	4
	12月15日	福祉学習支援	クラーク記念国際高校(アイマスク)	4
	3月	「こでまり」発行	地区福祉だより	
	隨時	安全パトロール	登下校の見まもり	
	5回開催 隨時	地区福祉委員会(町代表者会、全体会) 訪問活動	活動内容の協議等 各町で実施	96
宮川地区	3回開催 5回開催 2月14日	地区全体委員会 各町代表者会 小地域福祉ブロック会議	活動内容の協議等 活動内容の協議等 コロナ禍における自然災害対策	73 56 32
	8、9月	訪問活動	各町で実施	
	3月	「陽だまり」発行	地区福祉だより	
	隨時	福祉マップ作り	各町で福祉マップ作成	
	3回開催 1回開催 8、9月	地区福祉委員会（町代表者会） 地区福祉委員会（全体会） 訪問活動	活動内容の協議等 活動内容の協議等 ポカリスエットの配布	30 30 4
	2月	訪問活動 福祉学支援	各町で実施 岩園小学校（車いす）	
朝日ヶ丘地区	5回開催 9月	地区福祉委員会 訪問活動	活動内容の協議等 ポカリスエットの配布	87
	12月	訪問活動	祝箸の配布	
	3月	「それいゆ」発行	地区福祉だより	
	19回	一斉パトロール	朝日ヶ丘小学校下校時の見まもり	
	3回開催 3回開催 5月	地区福祉委員会（町代表者会） 地区福祉委員会（全体会） 訪問活動	活動内容の協議等 活動内容の協議等 手作りマスク配布	35 75 4
三条地区	8、9月	訪問活動	ポカリスエットの配布	
	12月	訪問活動	使い捨てカイロとリーフレット配布	
	3月	「お元気ですか？」発行	地区福祉だより	
	5回開催 7月	地区福祉委員会 訪問活動	活動内容の協議等 手紙の配布	80
	12月 2月14日	訪問活動 小地域福祉ブロック会議	手紙の配布 コロナ禍における自然災害対策	17
打出浜地区	3月	「ひまわり」発行	地区福祉だより	

潮見地区	6回開催	地区福祉委員会（全体会）	活動内容の協議等	111
	2回開催	地区福祉委員会（潮見）	活動内容の協議等	22
	2回開催	地区福祉委員会（潮芦屋）	活動内容の協議等	14
	9月	福祉マップ作り	福祉マップ作り	
	10月	訪問活動	マスクの配布	
	12月	年末警戒	自治会に協力	
	3月	「しおみ」発行	地区福祉だより	
浜風地区	9回開催	地区福祉委員会	活動内容の協議等	172
	7月	「はまかぜ」発行	地区福祉だより	
	10月	訪問活動	マスクの配布	

○地区福祉委員会正副代表者会

6月30日、8月25日、10月20日 12月15日、2月16日（5回開催）	・コロナ禍での活動について、各地区活動状況の報告と情報交換等
--	--------------------------------

○福祉推進委員研修

11月21日開催のストップ・ザ・無縁社会地域フォーラムを福祉推進委員研修として実施。

○地区生きがいデイサービス（受託事業）

地区	場所	内容	回数(回)	参加人数(人)
精道地区	茶屋集会所	体操	70	536
	竹園集会所	カラオケ	3	29
	如来寺	健康体操（会場をles芦屋から変更）	6	74
山手地区	大原集会所	歌で楽しむ	4	90
宮川地区	若宮集会所	チアタップダンス、寄せ植え、手芸	3	74
	西藏集会所			
岩園地区	上宮川文化センター	(開催無し)	—	—
朝日ヶ丘地区	朝日ヶ丘集会所	ナンプレ、ハーバリウム	2	17
三条地区	三条集会所	さわやか体操	36	363
		手を動かす会「ひこばえ」（手芸等）	5	34
		歌舞会「エゴラド」	4	77
打出浜地区	春日集会所	歌おう会	2	47
		いきいき体操（7月から再開）	7	113
	打出集会所	体操	1	15
潮見地区	潮見ゆうゆう俱楽部	(開催無し)	—	—
	陽光町市営住宅集会所	(開催無し)	—	—
浜風地区	芦屋浜管理センター		5	75

○各地区（町）高齢者のつどい

6町で実施	7回 165人
-------	---------

○高齢者訪問事業

5地区・19町で実施	のべ1,641人
------------	----------

○地区だよりの発行

発行地区	助成額
8地区	141, 353円

○「ストップ・ザ・無縁社会」の取組の推進

月 日	事業名	内 容	参加人数(人)
11月 21日	ストップ・ザ・無縁社会 地域フォーラム	・芦屋市社会福祉協議会会長感謝状贈呈式 ・映像で見る福祉活動 ・パネルディスカッション	150

○地域福祉活動功労者への芦屋市社会福祉協議会会長感謝状贈呈

	令和元年度	令和2年度
福祉推進委員	12名	5名
ボランティアグループ	3団体	2団体
高額寄付者	1名	1名

※11月 21日のストップ・ザ・無縁社会地域フォーラムにおいて感謝状を贈呈。

○災害時要配慮者支援の個別支援計画作成に係る研修会

月 日	会議名	内 容	参加数(人)
3月 15日	障がい福祉防災研修	・災害時要配慮者名簿の説明 ・令和元年度「防災と福祉の連携促進モデル事業」報告	1

○防災訓練等への参加

月 日	場 所	内 容	参加数(人)
11月 8日	打出小槌町	・避難所開設訓練、避難者受入れ訓練、災害時要配慮者、安否確認訓練	2

○救急医療情報キットの配布

救急医療情報キットの配布数	260
---------------	-----

※10月 1日より、福祉センター社会福祉協議会窓口及び各種行事開催時に無料で配布。

○多様な主体との連携の強化

事業名	内 容	実績等
あしや市民活動センターとの連携	「あしや笑顔ネット会議」出席	開催無し
フードバンク活動との連携	フードバンク関西と協定に基づき生活困窮者へ食糧支援の調整	35件
	フードバンク関西と芦屋市との協定に基づく防災備蓄食料提供の調整	2件
フードドライブ活動	フードドライブの実施（福祉センター総合相談窓口） 月1回実施（第3週月曜日～金曜日）	12回
	コープこうべのフードドライブによる食料等無償提供会、交流会の実施	9/25 8団体 1月 中止
	コープこうべと芦屋市との協定に基づくフードドライブ事業の実施（常設）【令和3年1月～】	受取 11回 提供 26件
芦屋市健康増進・全世代交流に向けたプロジェクト「こえる場！」	コアメンバー会議、打ち合わせに出席	2回
【新規】国際ソロプチミスト芦屋「ほほえみ支援基金」設立	生活に困窮している子どもとその世帯への支援のため、必要な物品購入費用を支援するため設立	0件

○協力事業者による地域見まもりネットワーク事業

見まもりネットワーク事業所	130件
事業所からの相談	8件

○福祉なんでも相談の実施

	実施回数（回）	相談件数（件）
まごのて相談（第1・第3金曜日）	3	0
セブンイレブン潮芦屋店（第2火曜日）	3	0

○地域活動支援

内 容	回数
ふれあい元気の会 実行委員会	7
ふれあい元気の会 歌声ほんまに広場	1
ふれあい元気の会 盆踊り	1
ふれあい元気の会 秋まつり	1
ふれあい元気の会 クリスマスイベント	1
ふれあい元気の会 節分イベント	1

○地域支えあい推進員との連携

月 日	内 容
毎月	芦屋市地域支え合い推進員連絡会
毎月	芦屋市生活支援体制整備事業推進会議（全市）
1月25日	〃 (東山手圏域)
1月29日 2月26日	〃 (西山手圏域)
1月28日 2月25日	〃 (精道圏域)
1月25日 3月12日	〃 (潮見圏域)
7月29日	芦屋市シルバー人材センターヒアリング
10月19日	あしや市民活動センター（リードあしや）ヒアリング
12月21日	ボランティア活動センターヒアリング

○地域活動者の支援及び地域（町）への支援

内 容	回数
cope移動販売実施に向けての打合せ、自治会への説明、現地見学等（朝日ヶ丘町・東山町） 東山町で5月7日より開始（毎週木曜日午後3時から）	7
cope移動販売実施に向けての打合せ、自治会への説明、現地見学等（打出小槌町） 5月18日より開始（毎週月曜日午後4時から）	3
cope移動販売実施に向けての打合せ、自治会への説明、現地見学等（宮川町） 9月3日より開始（毎週木曜日午後3時40分から）	3
呉川町マスクプロジェクトより集まったマスクの配布 なかよし工房、精道中学校、宮川小学校学童保育、子育てセンター、芦屋市訪問看護ステーション	1
若葉こども食堂立ち上げ支援	15
浜風町1街区自治会役員との打合せ	3

○地域活動団体への支援

月 日	内 容	団体数（件）
9月25日	copeこうべのフードドライブによる食料等無償提供会、交流会の開催	8

※1月は緊急事態宣言発令のため中止。1月以降は随時活動者に提供。

○関係会議への出席

名 称	出席回数（回）
芦屋市生活援助中心型サービス利用に係る地域ケア会議	1
芦屋市自立支援型地域ケア会議	1
地域ケア会議	5

○個別支援業務

内 容	対応回数 (回)
個別相談	10
個別ケース対応	60

○心配ごと相談事業（相談内容及び件数）

ア) 分野別集計

分 野	件数	分 野	件数
高 齢 者 に 関 す る こ と	111	こ ど も に 関 す る こ と	17
障 が い 者 に 関 す る こ と	8	そ の 他	21
合 計			157

イ) 相談内容別集計

相 談 内 容		件数	相 談 内 容		件数
1	在 宅 福 祉	17	8	年 金 ・ 保 險	1
2	介 護 保 險	5	9	仕 事	0
3	保 健 医 療	5	10	家 族 関 係	8
4	子 育 て ・ 母 子 保 健	2	11	住 居	1
5	こ ど も の 地 域 生 活	3	12	生 活 環 境	15
6	こ ど も の 教 育 ・ 学 校 生 活	2	13	日 常 的 な 支 援	61
7	生 活 費	2	14	そ の 他	34
合 計					157

ウ) 心配ごと相談研修の開催

月 日	開催場所	主な内容
10月27日	芦屋市役所	・令和元年度 活動状況報告、事例検討

○ニーズに応じた先駆的なサービスの推進

事業名	事業の主旨	件数及び内容
生活物品等ゆずりあい ネットワーク事業	経済的に困窮している世帯等が必要とする日用品を地域住民等に提供の協力を呼び掛け、物品提供の支援を実施	提供件数 66 件 (掃除機、冷蔵庫、扇風機、洗濯機、自転車、エアコン、テレビ等)

○しうがい者とのスポーツ交流ひろば（受託事業）

開催日時	奇数月第3土曜日、偶数月第3火曜日												
開催場所	福祉センター運動室												
内 容	サウンドテーブルテニス、ポッチャ、フライングディスク等												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数 (人)	—	—	—	14	14	12	16	19	16	8	9	16	124

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～6月は中止。

○身近な居場所や交流の場づくり

ア) 打出商店街内「まごのて～打出いこいの場～」の運営

- ・4月8日～5月31日まで閉所
新型コロナウイルスの感染症拡大防止のためイベント活動等の自粛
- ・6月1日以降活動再開
福祉なんでも相談、刃物研ぎ、みどり福祉作業所によるクッキー販売
- ・8月19日をもって閉所
地権者から場所の返還希望があり、事業継続が難しくなったため

開設日時	月曜日から金曜日 10時～16時
開所日数	38日
見まもり協力員登録人数	17名

- ・11月より事業再開
江尻川会館（南宮町）及び打出教育文化センター（打出小槌町）を借りて、おしゃべり場と、エコたわし教室を再開
- ・3月より、福祉センター1階高齢者交流室で、従来の参加者を対象に絵手紙の会を開

イ) 来所者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数(人)	3	0	0	5	0	—	—	16	10	4	—	18

*協力員不在により集計ができていない日があります。

*2月は緊急事態宣言発令のため中止

ウ) 教室、イベントなどの開催

教室、イベント名	実施回数(回)
刃物とぎ	2
みどり福祉作業所（授産品販売）	21
おしゃべり場	3
エコたわし	3
絵手紙	1

*刃物とぎ及びみどり福祉作業所は4月～8月19日まで、おしゃべり場、エコタワシ、絵手紙は11月以降の実績数。

エ) ポイントカード「aカード」の活用（善意銀行）

精算店舗数	1 店
「aカード」精算数	7枚 (350円分)

オ) 自主財源確保の取組

アクリルたわし「まごっち～」売上	24個 (実収入 1,200円)
教室・イベント等による収入	3,770円

カ) その他

- ・2月の緊急事態宣言発令中に、梅の花のストラップを教室等参加者に送付 28名

○高齢者福祉月間行事



月 日	場 所	内 容	対象者数 (人)
9月20日	市民センター	市敬老会記念品受け渡し（協賛）	1,036
10月6日	福祉センター	〃	792

○福祉イベント等への参画

月 日	場 所	内 容
9月15日	福祉センター	あしや保健福祉フェア実行委員会
中止	総合運動公園	障がい者とのふれあい市民運動会
中止	福祉センター	こどもフェスティバル
中止	福祉センター	障がい児年末のつどい
12月2日～10日	福祉センター 木口記念会館	第11回芦屋市障がい児・者作品展

○芦屋市地域発信型ネットワーク（受託事業）

ア) 小地域福祉ブロック会議

月 日	会議名	内 容	参加人数(人)
9月8日	朝日ヶ丘地区小地域福祉ブロック会議 拡大事務局会議	小地域福祉ブロック会議に向けて	4
12月18日	宮川・打出浜地区小地域福祉ブロック会議 拡大事務局会議	小地域福祉ブロック会議に向けて	12
2月6日、9日	朝日ヶ丘地区小地域福祉ブロック会議 (中止)	認知症サポーター養成講座の開催	中止
2月14日	宮川地区・打出浜地区合同 小地域福祉ブロック会議	コロナ禍における自然災害対策 (オンライン併用)	100

イ) 地域ケアシステム検討委員会正副委員長会

月　日	内　容
10月29日、12月14日、1月21日、3月18日	地域ケアシステム検討委員会の進め方について

ウ) 地域ケアシステム検討委員会

月　日	会議名	内　容	参加人数(人)
9月24日	第1回地域ケアシステム検討委員会	・正副委員長の報告 ・令和2年度の取組	15
11月19日	第2回地域ケアシステム検討委員会	・地域福祉推進協議会報告 ・「気づき」のポイントチェックシートについて	12
1月21日	第3回地域ケアシステム検討委員会	・「気づき」のポイントチェックシートの試行的配布について ・「気づき」のポイントチェックシートの活用ルールについて	16
3月18日	第4回地域ケアシステム検討委員会	・65歳PTについて ・「気づき」のポイントチェックシートの試行的配布について ・「気づき」のポイントチェックシートの活用ルールについて	12

エ) 障がいのある人が65歳になった時の介護保険移行のための支援の仕組みづくり

(65歳プロジェクト会議)

月　日	内　容
6月12日、7月20日、8月31日、9月24日、11月16日、12月7日、1月13日、2月22日	高齢障がい者の高齢者サービスへの移行システムについて

オ) 社会福祉協議会内部の相談支援体制構築のための検討会議

月　日	内　容
8月14日、9月25日、10月19日、11月30日、12月21日、1月19日	社協内部での相談支援体制の構築について

エ) 地域福祉推進協議会

月　日	会議名	内　容	参加人数(人)
10月5日	第1回地域福祉推進協議会	・会長、副会長の選出 ・令和元年度地域発信型ネットワークの取組報告 ・令和2年度地域発信型ネットワークの取組状況 ・コロナ禍における地域の課題共有	17
3月22日	第2回地域福祉推進協議会	・令和2年度地域発信型ネットワークの取組報告 ・「気づき」のポイントチェックシートについて	15

○福祉センター受付、総合案内業務（受託事業）

会議室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	回数											
	利用者数											
会議室 1	—	—	19	23	20	23	32	23	29	19	25	28
	—	—	344	330	302	302	459	394	563	240	373	430
会議室 2	—	—	6	12	14	14	21	14	18	16	15	19
	—	—	61	101	111	106	209	161	256	185	165	170
多目的ホール	—	—	16	9	15	7	17	14	13	7	11	25
	—	—	105	236	685	230	834	581	710	170	290	802
調理室	—	—	12	16	6	13	13	16	13	7	7	10
	—	—	170	196	70	178	160	196	175	88	94	126
運動室	—	—	2	52	48	53	56	57	49	45	53	60
	—	—	40	817	777	822	881	816	881	741	783	1,027

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4、5月は閉館、6月1日より制限を設けて再開。

2 ボランティア活動センター（受託事業）

○ボランティア登録数と主な活動内容

登録数	グループ	28グループ 868人 (準登録グループ含む)	個人	107人
主な活動内容	在宅福祉活動	朗読、点訳、手話通訳、要約筆記、安否確認（電話・訪問）、高齢者会食会、子育て支援、傾聴、アクリルたわし作り、布おもちゃ作り、外国人学習支援、復興住宅支援（友愛訪問、情報提供、ふれあい喫茶、行事協力）		
	施設利用者への支援活動	行事手伝い、音楽療法		

○ボランティア活動センター連絡会議

- ・開催中止、コロナ禍でのボランティアグループの活動についてアンケートを実施した。

○ボランティアコーディネート

相談	58件
派遣調整	6件
新規登録	0件
備品貸出（布おもちゃ等）	173件

○福祉ボランティア功労者への感謝状贈呈

令和2年度兵庫県ボランタリー活動賞	1団体
芦屋市社会福祉協議会会长感謝状（再掲）	元年度 1団体
	2年度 2団体

○ボランティア市民活動災害共済等への加入促進

市民活動災害共済プラン	1,571人
天災危険補償プラン	32人
事故報告・傷害保険申請及び給付	6件
ボランティア活動等行事用保険	18件

○児童・生徒等のボランティア活動事業

事業名	内 容	助成件数	助成金額
児童・生徒等のボランティア活動事業	児童会・生徒会・ボランティアクラブの事業及び学校と地域の交流事業等への助成	5校	144,985円

○貸室

会議室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
団体会議室 1	62	30	303	281	253	307	278	343	285	247	290	440
団体会議室 2	128	21	478	490	433	539	520	559	523	305	364	641
福祉団体室	0	0	90	160	65	137	139	126	118	118	149	175
ボランティア活動センター	8	14	119	207	175	167	160	162	168	50	103	147

○夏休み中学生福祉ボランティア学習

月 日	事業名	内 容	参加人数(人)
8月11日 ～12日	夏休み中学生 福祉ボランティア学習	中学生を対象とした夏休み期間に、福祉や防災についての学習などのボランティア体験を実施	17

○学校での福祉学習活動

6月26日 12月10日	岩園小学校	視覚障がいについて（講話・アイマスク体験） 肢體障がいについて（講話・車椅子体験）	5クラス148人
11月2日 12月14日	山手小学校	視覚障がいについて（講話） 聴覚障がいについて（講話）	4クラス120人
10月16日 10月29日 11月20日	浜風小学校	視覚障がいについて（講話・アイマスク体験） 障がいについて（講話） 肢體障がいについて（講話・車椅子体験）	2クラス41人
11月30日	精道小学校	肢體障がいについて（車椅子体験）	4クラス120人

12月7日		視覚障がいについて（講話）	
1月28日	潮見小学校	視覚障がいについて（講話）	4クラス116人
3月11日	宮川小学校	肢体障がいについて（講話・車椅子体験）	3クラス99人
11月11日	山手中学校	視覚に障がいのある人との交流 聴覚に障がいのある人との交流 認知症サポーター養成講座	5クラス165人
12月15日 1月25日 2月1日 2月8日	クラーク記念国際高等学校	視覚障がいについて アイマスク・白杖体験 点字体験 講話 講話	2クラス34人
1月20日	伊勢幼稚園	視覚障がいについて（講話）	2クラス40人
2月15日	宮川幼稚園	視覚障がいについて（講話）	4クラス79人
2月17日	潮見幼稚園	視覚障がいについて（講話）	2クラス35人
3月1日	西山幼稚園	視覚障がいについて（講話）	3クラス54人

○認知症サポーター養成講座基礎編（受託事業）

月 日	場 所	対 象	参加人数(人)
6月30日	芦屋市シルバー人材センター	生活支援型訪問サービス従事者研修受講生	10
7月3日	第一生命保険 芦屋営業オフィス	第一生命保険職員	22
7月3日	第一生命保険 芦屋営業オフィス	第一生命保険職員	8
7月14日	第一生命保険 打出営業オフィス	第一生命保険職員	12
7月14日	第一生命保険 打出営業オフィス	第一生命保険職員	12
8月5日	打出浜小学校	キッズスクエア登録者	12
8月5日	精道小学校	キッズスクエア登録者	9
10月12日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	16
10月15日	芦屋市役所	新任職員	26
11月5日	福祉センター	潮見地区 民生委員・福祉推進委員	20
11月6日	芦屋市シルバー人材センター	生活支援型訪問サービス従事者	13
11月11日	山手中学校	中学1年生	56
12月8日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	10
2月25日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	14
合計			240

○認知症サポーター養成講座ステップアップ編（受託事業）

月 日	場 所	対 象	参加人数(人)
11月17日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	16

○認知症啓発講座

月 日	場 所	内 容	参加数 (人)
3月2日	福祉センター	若年性認知症講演会	28

○手話奉仕員養成研修入門の開催（受託事業）

月 日	事業名	内 容	参加数 (人)
8月27日 ～12月24日	手話奉仕員養成研修入門の開催 (毎週木曜日・全18回)	手話奉仕員養成研修（入門編）	20

○災害ボランティア活動の推進

月 日	場 所	事業名	内 容	参加人数 (人)
12月15日	オンライン	大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練	コロナ禍における自然災害発生時の被災者支援について	1

○ボランティア情報の充実

事業名	内 容
ボランティア情報の発信	社協だより「ボランティア活動センターコーナー」にボランティア情報等を掲載

○活動に関する財源確保の支援

ボランティアグループ活動助成	21件
----------------	-----

○兵庫県県民ボランタリー活動助成申請受付

助成決定団体	37件
--------	-----

○ひとり一役活動推進事業（受託事業）

ア) 統計

ワーカー登録者	85名
受入登録機関	27施設
居宅支援活動	13件
ポイント転換交付者	25名

イ) 月別活動者数及び活動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
活動者数	1	1	14	16	19	28	24	24	27	22	23	22	221
延べ活動件数 (うち居宅)	5 (5)	4 (4)	38 (4)	53 (5)	75 (3)	83 (7)	81 (8)	76 (8)	78 (12)	54 (7)	63 (7)	60 (7)	670 (77)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月まで活動中止（一部居宅支援を除く）。

6月より活動再開。受入が可能となった受入機関から順次受入を再開（3月末現在 5施設）。

ウ) 交流会・研修会の開催

月 日	場 所	内 容	参加者 (人)
10月9日	福祉センター	ひとり一役ワーカー研修「感染症の基礎知識」	7

○アクションプログラム推進事業（受託事業）

ア) アクションプログラム推進協議会の開催（月1回）

月 日	場 所	内 容	参加人数(人)
6月23日	福祉センター	・令和元年度活動報告・令和2年度活動計画について ・広報あしや特集号記事について	14
7月13日	福祉センター	・令和2年度の取組について ・広報あしや記事内容について	13
8月11日	福祉センター	・てがみでつながろうプロジェクトについて ・ベンチプロジェクトについて・広報あしや記事内容について	11
9月2日	福祉センター	・おもいをつなごうプロジェクトについて ・ベンチプロジェクトについて・広報あしや記事内容について	10
10月7日	福祉センター	・おもいをつなごうプロジェクトについて ・ベンチプロジェクトについて・広報あしや記事内容について	11
11月16日	福祉センター	・おもいをつなごうプロジェクトについて ・ベンチプロジェクトについて	10
12月17日	福祉センター	・おもいをつなごうプロジェクトについて ・市民会議への参加について・ベンチプロジェクトについて	11
3月26日	福祉センター	・おもいをつなごうプロジェクトについて ・ベンチプロジェクトについて・令和3年度活動内容について	9

※新型コロナウィルス感染症拡大防止のため4月、5月、1月、2月は中止。

イ) 他の活動

開催なし

ウ) あしや発信局玉手箱プロジェクト

月 日	場 所	主な内容	参加人数 (人)
7月17日	福祉センター	第1回打合せ	7
8月4日	福祉センター	第2回打合せ	7
8月23日	福祉センター	第3回打合せ	6
9月12日 ～3月13日	茶屋集会所	シニア×高校生茶屋之町スマホカフェ（全5回） ※適宜Zoomによる交流会を実施（シニア6名・高校生6名）	12人/1回 ※回により増減あり
9月30日	福祉センター	サイバー犯罪被害防止教室（講義）	25

10月4日	福祉センター	第4回打合せ	6
11月12日	福祉センター	スマホ講座（講義）	66
11月27日	福祉センター	第5回打合せ	6
12月21日	朝日ヶ丘集会所	シニア×高校生スマホ講座（シニア5名・高校生7名）	12
12月21日	福祉センター	第6回打合せ	7
3月19日	福祉センター	スマホ勉強会（サポーター5名・高校生7名・玉手箱2名）	14
3月24日	福祉センター	視覚に障がいのある方向けiPad講座①（講義） (受講者：6名・高校生見学5名・当事者見学2名)	13
3月27日	福祉センター	視覚に障がいのある方向けiPad講座②（講義） (受講生：5名・高校生見学5名・当事者見学2名)	12

工) わがまちベンチプロジェクト

新規設置場所	設置台数（台）
茶屋さくら通り（茶屋之町自治会）	1

才) おもいをつなごうプロジェクト

月 日	場 所	主な内容	参加人数(人)
11月26日	エルホーム芦屋	宮川幼稚園から「リングプル」「作品」のお届け	宮川幼稚園児
3月4日	エルホーム芦屋	宮川幼稚園から「リングプル」「作品」のお届け	宮川幼稚園児
12月22日	翠ヶ丘集会所	シニア×高校生 Zoom交流会	12 (内高校生6人)
3月16日	福祉センター 西藏集会所 茶屋集会所	シニア×高校生 Zoom交流会	48 (内高校生21人)

○障がい児日中一時支援事業（登録利用者数 29名）

利用者数・実施日数・活動ボランティア数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数(日)	休止	休止	22	21	19	19	22	20	19	18	18	23	201
延べ利用者数(人)	0	0	58	69	62	62	65	65	67	65	74	90	677
延べボランティア数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月、5月は受入中止。

○ファミリー・サポート・センター事業（受託事業）

ア) 会員登録人数及び活動状況

会員種別	登録人数（人）
依頼会員	859
協力会員	321
両方会員	58
活動件数	4,232件

イ) 講座・交流会等

月 日	事業名	内 容	参加人数(人)
6月8日、10日 12日、15日 17日、19日	協力会員養成講座	①オリエンテーション、子どもの発達と健康 ②おいしくて楽しい食事 ③緊急時対策と応急処置 ④保育所見学 ⑤保育のこころ ⑥事例発表、協力会員としてスタートするために	※中止
10月19日、21日 23日、26日 28日、29日			延べ99
①11月28日 ②1月30日 ③3月27日	子育てお役立ち講座	①「発達障がい」ってなあに 講師：障がい基幹相談支援センター 職員 ②子どもと楽しむ読み聞かせのヒント 講師：おはなし♪ぱほんた ③「知っておきたい子どもの応急手当」 講師：芦屋市救命救急スタッフ	① 12 ② ※中止 ③ 15
7月8日	協力会員交流会 (おしゃべりサロン)	「手のひらサイズのかわいい多肉植物」と意見交換 講師：佃 隆子氏	14 うち子ども 4
12月8日		「アロマでマスクスプレー」と意見交換 講師：吉谷 永子 氏	11
8月22日	地区別交流会	「バルーンおじさんとあそぼう」講師：安木良明氏	27 うち子ども15
3月6日	会員交流会	人形劇「ハラペコくん」他 出演：人形劇団 おまけのおまけ	44 うち子ども24

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

○ワンコインサロン（受託事業）

月 日	場所	内 容	参加人数(人)
6月12日	高齢者交流室	「ナンプレ」～とにかくやってみよう！初級①～	7
6月19日		「手芸」～わくわくモンキー～	8
7月10日		「ナンプレ」～とにかくやってみよう！初級②～	6

7月17日		「マクラメ編み」～カニ～	8
9月11日	高齢者交流室	「ナンプレ」～コツを知って楽しもう！中級①～	8
9月18日		「マクラメ編み」～ミニドア飾り～	8
9月25日		「写経」	7
10月9日		「ナンプレ」～コツを知って楽しもう！中級②～	8
10月16日		「書と遊ぼう」～色紙に美文字を～	5
10月23日		「手芸」～まんまるブローチ～	10
11月13日		「ナンプレ」～コツを掴んで挑戦しよう！上級①～	6
11月20日		「マクラメ編み」～干支色紙・丑～	15
11月27日		「リース」～自然の物を使って～	15
12月11日		「ナンプレ」～コツを掴んで挑戦しよう！上級②～	4
12月25日		そろばん①	5
1月15日		「ナンプレ」～難間に挑戦！①～	5
1月22日		「マクラメ編み」～スノーマン～	8
1月29日		そろばん②	11
2月12日		「ナンプレ」～難間に挑戦！②～	8
2月19日		「マスクケース」～簡単にできる2種～	8
2月26日		そろばん③	7
3月12日		「ナンプレ」～いよいよ超難間に挑戦！～	10
3月19日		「マクラメ編み」～カエル3匹～	9
3月26日		そろばん④	9
合 計			195

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月、5月は中止。

○こだわりのワンコインサロン

月 日	場所	内 容	参加人数(人)
11月10日	高浜町ライフサポートステーション	おいしいコーヒーの淹れ方基礎知識①	9
11月26日		おいしいコーヒーの淹れ方基礎知識②	9
合 計			18

○高齢者会食懇談会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

○介護用品の貸出

車いすの貸出

事務局取扱分 63件

各町設置車いすの貸出と点検 随時

(民生委員児童委員、福祉推進委員または、自治会で管理)

○地域子ども会活動助成

21子ども会 319,000円

助成対象子ども会にヒアリングを実施 12月19日

○あじさいの会（認知症の人をささえる家族の会）支援活動

定例会へ出席し情報交換（毎月1回）

○社会を明るくする運動協賛

社会を明るくする運動に協賛・標語パネルを掲示（7月1日～31日）

3 相談支援

○総合相談窓口（受託事業）

ア) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	346	295	174	117	122	119	73	73	79	105	432	269	2,204
2回目以降	1	13	10	3	13	14	9	12	8	19	5	5	112
合計	347	308	184	120	135	133	82	85	87	124	437	274	2,316

イ) 相談内容（重複含む）

相談内容	件数(件)	相談内容	件数(件)
介護保険・福祉制度	26	介護予防	0
生活（衣食住）	21	就労	11
経済・法律問題	1837	役所の手続き	2
家族との関係	248	社会的孤立	4
健康・病院	17	不安・話し相手	23
メンタルヘルス	8	その他	33

ウ) 総合相談連絡会の開催

月1回定例開催 9回開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、5月、6月は中止。

○生活困窮者自立相談支援事業（受託事業）

ア) 自立相談支援事業（継続相談）における支援状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立相談件数	77	59	21	17	13	14	10	12	8	9	15	22	277
プラン件数	13	38	1	7	7	5	8	12	6	9	7	4	117
住居確保給付金 (再支給申請)	10	57	14	13	6	2	3	2	1	4	2 (11)	6 (17)	120 (28)
就労準備支援事業	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	5
子どもの学習・生 活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活福祉資金貸付事業	10	14	0	6	4	4	2	11	5	3	5	2	66
生活保護受給者等 就労自立促進事業	0	0	0	3	0	0	2	1	1	1	5	2	15

イ) 定例支援調整会議、個別支援調整会議、市役所庁内連携会議

会議名称	頻度	開催回数(回)
定例支援調整会議	月1回	9
個別支援調整会議	随時	0
芦屋市生活援護課との連絡会議	年2回	0
芦屋市債権管理課・保険課との連絡会議	随時	0
ケースレビュー会議	年2回	2

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、4月、5月、6月は開催中止。

ウ) 生活困窮者自立相談支援事業事例検討会の開催

内容	頻度	開催回数(回)
事例検討会 S V : 神戸学院大学教授 阪田 憲二郎 氏	2か月1回	1

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、オンライン開催。

エ) 社会的孤立支援（新規）

- 高校卒業後の相談窓口周知

高校訪問 (就労準備支援同行)	芦屋大学
	西宮甲英高等学院
	クラーク記念国際高等学校

- 「ひだまりの会～子どもを思いやる親の会～」開催

月 日	内 容	参加人数(人)
7月21日	情報交換 コロナ禍での生活状況について	3

8月26日	情報交換 親亡き後の子どもの生活状況について	1
9月23日	情報交換 生活状況と最近思うことについて	3
10月28日	情報交換 救急医療情報キットについて	2
11月25日	情報交換 生活状況について	2
12月23日	情報交換 クリスマスを楽しもう	3
3月24日	情報交換 近況について	2

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月、5月、6月は中止。

才) 生活困窮者自立支援推進協議会への参画

月 日	会議名
11月18日	第1回芦屋市生活困窮者自立支援推進協議会 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による相談状況等について ・各事業における事業評価について
2月2日	第2回芦屋市生活困窮者自立支援推進協議会 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による相談実績及び課題について ・虐待対応（児童・障がい・高齢）の実績と実態について ・参加支援に向けた連携について

力) 担当職員等への説明会・研修会開催

月 日	対象者	内容
10月27日	民生児童委員協議会	生活困窮者自立相談支援事業と就労準備支援事業について（周知）
12月24日	民生児童委員協議会	総合相談と生活困窮者自立相談支援事業について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各回2部に分けて実施。

○生活福祉資金貸付事業（受託事業）

ア) 兵庫県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業

種 別	相談件数	申請件数	決定件数	貸付決定金額
福祉資金	18	2	2	2,713,000
教育支援資金	157	10	10	21,115,400
緊急小口資金	3,446	通常分 3 コロナ特例 879	通常分 2 コロナ特例 861 (うち労金・郵便局25件含む)	156,140,000
総合支援資金		初回 634 再貸付 274	初回 625 再貸付 273	710,250,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型融資	0			

イ) 教育支援資金在学確認面談

実施時期	実施対象者（人）
10月	30

ウ) 芦屋市生活福祉資金貸付事業

	決定件数	貸付決定金額
緊急小口資金	2	20,000円

○民生児童委員活動との連携

ア) 福祉を高める運動の推進（9月、10月にブロックごとに実施）＊対象世帯（重複あり）

内 容	世帯数（件）
(ア)経済的な問題を抱える世帯	29
(イ)障がい（児）者の問題を抱える世帯	28
(ウ)介護等の問題を抱える世帯	14
(エ)ひとり暮らしで問題を抱える世帯	87
(オ)児童の問題を抱える世帯	6
(カ)その他何らかの問題を抱える世帯	60

イ) 低所得世帯に対する自立のための援助金交付

夏季援助（共同募金一般配分金）		歳末たすけあい（歳末たすけあい募金）	
世帯構成	世帯数（件）	世帯構成	世帯数（件）
1人世帯	6	1人世帯	6
2人世帯	5	2人世帯	5
3人世帯	6	3人世帯	9
4人世帯	4	4人世帯	2
5人世帯	0	5人世帯	1
6人世帯	2	6人世帯	2
7人世帯	0	7人世帯	0
合 計	23	合 計	25

ウ) 芦屋市民生児童委員



芦屋市民生児童委員協議会に対する活動費の交付 150,000円

4 障がい相談支援事業

○障がい者基幹相談支援センター（受託事業）

ア) 相談者数（本会相談員分）

種別	延べ人数（人）
身体	31
知的	56
精神	63
発達	21
その他	11
計	182

イ) 支援の方法（本会相談員分）

内 容	延べ相談回数（件）
訪問	374
来所	228
同行	43
電話相談	1,201
電子メール	48
個別支援会議	30
関係機関	727
その他	28
合 計	2,679

*相談者1人に対して、支援方法が複数の場合有

ウ) 相談の内容（本会相談員分）

内 容	相談回数(件)	内 容	相談回数(件)
福祉サービス利用等に関する支援	1,367	家計・経済に関する支援	70
障がいや症状の理解に関する支援	243	生活技術に関する支援	136
健康・医療に関する支援	322	就労に関する支援	53
不安の解消・情緒の安定に関する支援	142	社会参加・余暇活動に関する支援	18
保育（療育）・教育に関する支援	70	権利擁護に関する支援	21
家族関係・人間関係に関する支援	166	その他	53
		合 計	2,661

*相談1件につき支援内容が複数の場合有

エ) 虐待ケースの支援内容（通報件数6件・本会相談員分）

区 分	回数（回）	内 容	回数(回)	内 容	回数(回)
訪問	2	事実確認	23	消費者被害	0
来所	1	安否確認	1	法律職紹介・法テラス	0
同行	0	状況・実態把握	18	成年後見申立支援	0
電話相談	17	被虐待者の相談	1	成年後見市長申立	0
電子メール	1	養護者の相談	1	立ち入り調査	0
個別支援会議	32	福祉サービスの利用支援	0	やむを得ない措置	0
関係機関	27	年金・医療の手続き支援	1	面会制限	0
その他	0	福祉サービス利用援助事業	0	その他	34
合計	80	その他の生活支援	0	合計（回）	79
		債務整理	0		

○障がい者相談支援事業（受託事業）

ア) 相談者数

種別	延べ人員(人)
身体	40
知的	57
精神	142
発達	83
その他	36
計	358

イ) 支援の方法

内容	延べ相談回数(件)
訪問	173
来所	271
同行	70
電話相談	863
電子メール	98
個別支援会議	24
関係機関	2,011
その他	35
合計	3,545

*相談者1人に対して、支援方法が複数の場合有

ウ) 相談の内容

内容	相談回数(件)
福祉サービス利用等に関する支援	1,402
障がいや症状の理解に関する支援	585
健康・医療に関する支援	535
不安の解消・情緒の安定に関する支援	323
保育（療育）・教育に関する支援	112
家族関係・人間関係に関する支援	459
家計・経済に関する支援	178
生活技術に関する支援	193
就労に関する支援	214
社会参加・余暇活動に関する支援	109
権利擁護に関する支援	129
その他	10
合計	4,249

*相談1件につき支援内容が複数の場合有

○指定特定相談・指定障害児相談事業（介護給付費）

新規 継続	成人 児童	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
新規 /更新	成人	22	21	28	22	14	11	12	16	26	18	14	19	223
	児童	9	7	14	11	16	10	16	15	12	14	8	18	150
継続	成人	43	40	46	46	46	46	48	33	46	43	54	50	541
	児童	31	27	27	32	21	28	21	18	24	27	24	32	312

5 権利擁護支援

○権利擁護支援センター事業（受託事業）

ア) 権利擁護専門相談

定期相談、臨時相談（相談件数 81件）

①法律家（弁護士、司法書士）と専門相談員（社会福祉士等）による協働型権利擁護専門相談

②専門相談員（社会福祉士等）による相談

（相談件数3,662件、新規353件、継続3,309件）

③電話や来所により、権利擁護及び成年後見制度に関する相談

イ) 権利擁護専門支援事業

虐待等、権利侵害に対する専門的な支援

虐待通報件数 高齢者 76件（養護者 73件、施設従事者3件）

障がい者 20件（養護者 18件、施設従事者2件）

ウ) 人材バンク登録者

登録者数	73名
後見活動支援員フォローアップ研修	11月24日、3月6日、3月20日（3回開催）

エ) 介護相談員派遣事業

從来は1施設を2～3名の介護相談員が担当し、月に2回を目安に、介護相談員活動を行うもの。

介護相談員	48名
活動協力施設	14施設
全体会	中止
新任相談員研修会	中止
中間会議	中止
活動協力施設へのヒアリング調査	なし
介護相談員フォローアップ研修	10月22日、12月2日、3月26日（3回開催）
総括会議	中止

※新型コロナ感染症拡大防止のため、一部事業を中止。

オ) 障がい者福祉施設等相談員派遣事業

1施設を5～6名の相談員が担当し、月に1回を目安に活動を行った。

相談員	11名
活動協力施設	2施設
フォローアップ研修	10月22日、12月2日、3月26日（3回開催）
現場実習	なし
全体会・新任相談員研修会	8月26日
総括会議	中止

※新型コロナ感染症拡大防止のため、一部事業を中止。

力) 終活支援事業「ろーすくーるAshiya」

65歳以上の市民を対象に、高齢期の生活と健康、人生の終わりに準備するべき内容についての講座

10月29日～11月26日のうち5日間開催

ヰ) 権利擁護支援センター運営委員会、専門委員会の開催

月 日	会議名
8月4日	第1回権利擁護支援センター運営委員会
2月22日	第2回権利擁護支援センター運営委員会
開催無し	権利擁護支援センター専門委員会

ク) 権利擁護支援センターの開催研修

月 日	主な内容	開催場所
11月27日	権利擁護研修（行政・包括・障がい相談職員向け）	芦屋市消防庁舎
3月17日	高齢者虐待対応研修	福祉センター

※新型コロナウイルスの影響により、開催無し

ケ) 権利擁護支援センターの講師派遣

芦屋市生活支援型訪問サービス従事者研修

コ) 法人後見 法人後見受任 3件

サ) 市民後見 市民後見人選任 1人

シ) 後見監督 後見監督受任 1件

福祉サービス利用援助事業（受託事業）

ア) 契約件数

契約件数	32件
新規契約	5件
解約件数	8件

イ) 相談対応件数（職員訪問件数含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
対応件数	282	336	363	409	463	343	406	378	374	407	327	422	4,510

ウ) 生活支援員(12名)派遣回数 245回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(回)
派遣回数	37	39	44	40	43	42	45	47	40	43	37	43	500

エ) 利用契約者に関するケース会議 8回

オ) 関係機関との連絡調整 隨時

カ) 生活支援員交流会 開催無し

○財産保全サービス事業

契約件数	8件
新規契約	3件
解約件数	4件

○福祉サービスに関する苦情対応

福祉サービス利用に関する苦情解決規程に基づき、苦情受付担当者、苦情受付担当者、苦情解決責任者を選任

中立性、客観性の確保のため、第三者委員を設置

6 介護保険事業

○地域包括支援センター

(1)相談対応状況

開所日数（日）	247
相談対応日数（日）	280
相談実人数（人）	2,174
相談延人数（人）	5,569

(2)対象者内訳（延件数）

	新規	継続	合計
未認定	331	1,987	2,318
事業対象者	2	442	444
認定	65	2,742	2,807
合計	398	5,171	5,569

(3)対応方法内訳（延件数）

		新規	継続	合計
内	電話	273	3,319	3,592
	来所	109	310	419
	その他	6	81	87
外	訪問	9	1,168	1,177
	会議	0	121	121
	その他	1	172	173

(4)高齢者虐待対応（延件数）

	通報（新規実件数/件）	26
対応内訳	事実確認	44
	支援・対応・連絡調整等	188
	通報共有ミーティング	7
	コアメンバー会議	13
	虐待対応個別ケース会議	3
	終結・終了会議	1
	合計	256

(5)居宅介護支援事業所の介護支援専門員へのサポート

相談実人数（介護支援専門員人数）	13
相談延件数	16
内訳	社会資源の情報提供
	2
	援助関係について
	12
	同行訪問
	1
ケアプラン作成支援	0
サービス担当者会議同席	1
その他	0

(6)地域ケア会議の開催

	包括支援センター ケース	介護支援専門員 ケース
地域ケア会議	5	1

(7)ネットワークづくり（個別支援を除く）

	会議	行事	啓発等
フォーマル	64	0	4
インフォーマル	2	1	1

(8)介護予防教室

参加人数	91	延参加人数	218	開催回数	23
------	----	-------	-----	------	----

(9)相談対応・連絡調整等の対象者や機関

	新規	継続
本人	76	2,213
家族	191	1,418
医療機関	55	553
民生委員・福祉推進委員	8	103
地域団体等(自治会・老人会等)	1	9
関係機関・行政	25	421
関係機関・行政以外	15	194
介護支援専門員(他包括・施設介護支援専門員含む)	13	500
サービス提供事業所職員	3	698
近隣・知人(家政婦含む)	10	133
権利擁護関係機関	0	157
地域みまもりネット登録事業者	0	7
その他	0	9
合計	397	6,415

(10)相談対応・連絡調整等内容

	新規	継続
介護保険に関すること	305	2,752
総合事業に関すること(チェックリスト実施を含む)	9	527
一般(高齢者)施策に関すること	10	67
地域資源に関すること	20	132
障がい者福祉制度・サービス等に関すること	2	26
一般介護予防事業に関すること	6	17
健康(保健・医療)に関すること	123	1,814
施設(入所)に関すること	17	138
認知症に関すること	25	349
経済に関すること	4	179
高齢者以外の人に関すること	4	62
複合支援(世帯内で複数の問題を抱えるもの)	2	108
権利擁護支援に関すること	3	172
苦情相談	0	4
安否確認	2	42
状況確認	3	106
実態把握	1	110

直接的支援（やむを得ない通院介助等）	0	166
その他	1	3
合計	537	6,774

○訪問介護事業

総計 ((①～④))		対前年度比較	
利用者数（人）	2,175	2,320	93.7%
派遣回数（回）	19,535	20,495	95.3%
派遣時間数（時間）	20,865.0	23,115.7	90.2%
新規ケース（件）	57	59	96.6%
収入（千円）	75,799	79,351	95.5%
①介護保険訪問介護、総合事業訪問型サービス		対前年度比較	
利用者数（人）	1,600	1,725	92.7%
派遣回数（回）	15,180	15,598	97.3%
派遣時間数（時間）	15,467.0	15,987.3	96.7%
新規ケース（件）	38	51	74.5%
収入（千円）	56,835	58,775	96.6%
②障害福祉サービス居宅介護、重度訪問介護、同行援護		対前年度比較	
利用者数（人）	251	290	86.5%
派遣回数（回）	3,056	3,798	80.4%
派遣時間数（時間）	4,186.8	5,980.0	70.0%
新規ケース（件）	3	2	150.0%
収入（千円）	14,394	18,216	79.0%
③芦屋市受託事業（移動支援、高齢者見守り、母子父子ヘルプ、育児支援等）		対前年度比較	
利用者数（人）	45	60	75.0%
派遣回数（回）	194	152	127.6%
派遣時間数（時間）	448.8	351.4	127.7%
新規ケース（件）	2	1	200.0%
収入（千円）	1,133	873	129.7%
④独自事業（有償ヘルプサービス）		対前年度比較	
利用者数（人）	279	245	113.8%
派遣回数（回）	1,105	947	116.6%
派遣時間数（時間）	762.5	797.0	95.6%
新規ケース（件）	14	5	280.0%
収入（千円）	1,534	1,487	103.1%

※収入については千円未満切捨、対前年度比較は小数点第2位切捨

○独自事業登録状況

	合計	対前年度比較	
利用登録者数	167	141	118.4%

※対前年度比較は小数点第2位切捨

○訪問看護事業

総計 (①～③)		対前年度比較	
利用者数 (人)	1,411	1,355	104.1%
派遣回数 (回)	8,465	7,791	108.6%
派遣時間数 (時間)	6,561.1	5,902.5	111.1%
新規ケース (件)	91	82	110.9%
収入 (千円)	70,987	61,948	114.5%
①介護保険訪問看護		対前年度比較	
利用者数 (人)	1,020	968	105.3%
派遣回数 (回)	5,013	4,679	107.1%
派遣時間数 (時間)	3,636.6	3,264.8	100.3%
新規ケース (件)	47	41	114.6%
収入 (千円)	38,289	34,634	110.5%
②医療保険訪問看護		対前年度比較	
利用者数 (人)	381	375	101.6%
派遣回数 (回)	3,307	2,955	111.9%
派遣時間数 (時間)	2,851.5	2,559.2	111.4%
新規ケース (件)	44	46	95.6%
収入 (千円)	30,447	26,427	115.2%
③芦屋市受託事業 (医療的ケア児)		対前年度比較	
利用者数 (人)	10	12	83.3%
派遣回数 (回)	145	158	91.7%
派遣時間数 (時間)	73.0	79.0	92.4%
新規ケース (件)	0	2	
収入 (千円)	828	894	92.6%

※収入については千円未満切捨、対前年度比較は小数点第2位切捨

○居宅介護支援事業

	件数(件)	対前年度比較	
予防給付	391	396	98.7%
要介護1	1,210	1,267	104.7%
要介護2	703	622	113.0%
要介護3	434	319	136.0%
要介護4	253	248	102.0%
要介護5	230	259	88.8%
合計	3,221	3,111	103.5%
収入(千円)	54,793	49,058	111.6%

※収入については千円未満切捨、対前年度比較は小数点第2位切捨

○通所介護事業

総計(①～②)		対前年度比較	
開設日数(日)	305	308	99.0%
利用者数(人)	643	730	88.1%
延利用者数(人)	5,475	6,069	91.1%
1日平均利用者数(人)	17.95	19.70	91.1%
収入(千円)	45,784	49,104	93.2%
①介護保険通所介護		対前年度比較	
利用者数(人)	546	594	91.9%
延利用者数(人)	4,906	5,155	95.2%
1日平均利用者数(人)	16.09	16.74	96.1%
収入(千円)	42,967	43,821	98.1%
②総合事業通所型サービス		対前年度比較	
利用者数(人)	53	66	80.3%
延利用者数(人)	569	914	62.2%
1日平均利用者数(人)	1.9	3.0	63.3%
収入(千円)	2,817	5,283	53.3%

※収入については千円未満切捨、対前年度比較は小数点第2位切捨

○介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

総計(①～②)		対前年度比較	
介護予防支援(件)	3,212	3,301	97.3%
ケアマネジメントA(件)	1,790	1,837	97.4%
ケアマネジメントB(件)	471	535	88.0%
合計(件)	5,473	5,673	96.4%
収入(千円)	20,860	21,216	98.3%

①地域包括支援センター直営		対前年度比較	
介護予防支援（件）	2,377	2,400	99.0%
ケアマネジメントA（件）	1,390	1,390	100%
ケアマネジメントB（件）	436	447	97.5%
合計（件）	4,203	4,284	98.1%
②居宅介護支援事業所委託		対前年度比較	
介護予防支援（件）	835	901	92.7%
ケアマネジメントA（件）	400	447	89.5%
ケアマネジメントB（件）	35	41	85.4%
合計（件）	1270	1389	91.4%

※収入については千円未満切捨、対前年度比較は小数点第2位切捨

○要介護認定調査、障害支援区分認定調査

対前年度比較			
要介護認定調査（件）	443	339	130.6%
障害区分調査（件）	4	6	
合計	447	345	129.2%

○高齢者住宅等安心確保事業（L.S.A）

対前年度比較			
実施日数（日）	365	366	100.0%
安否確認訪問（件）	4,579	5,197	88.1%
緊急通報作動（件）	57	32	178.1%
相談（件）	487	702	69.4%
関係機関連絡調整（件）	377	429	87.9%
一時的生活支援（件）	509	766	66.4%

○紙おむつ給付・宅配サービス

対前年度比較			
新規登録数（人）	32	27	118.5%
延配布者数（人）	1,125	1,082	103.9%
廃止数（人）	35	28	125.0%
合計	1,192	1,137	104.8%

7 法人運営

○理事会開催状況（理事定数 14人）

月 日	場 所	内 容	出席人数 (人)
6月3日 (第1回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度資金収支補正予算(第1次)について ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度計算書類及び財産目録の承認について ・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員選任候補者の推薦について ・令和2年度定時評議員会の招集について 	理事13 監事2 事務局4
6月19日 (第2回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選定について ・プラスワン福祉基金規程について 	理事14 監事2 事務局4
11月25日 (第3回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市精道地域包括支援センター運営規程について ・経理規程について ・芦屋市訪問看護ステーション運営規程について ・令和2年度資金収支補正予算（第1次）について ・職員就業規則について ・嘱託職員就業規程について ・臨時職員就業規程について ・職員給与規程について ・令和2年度歳末たすけあい運動について ・地域福祉推進計画策定委員会設置要綱について 	理事14 監事2 事務局4
1月29日 (第4回)	決議の省略 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局規程について ・社会福祉法第56条第1項に基づく監査について（報告） 	
3月12日 (第5回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程について ・嘱託職員就業規程について ・臨時職員就業規程について ・経理規程について ・事務局規程について ・令和3年度事業計画の承認について ・令和3年度資金収支予算の承認について ・令和2年度3月評議員会の招集について 	理事14 監事2 事務局4
3月31日 (第6回)	決議の省略 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な役割を担う職員の選任及び解任について 	

○評議員会開催状況（評議員定数 24人）

月 日	場 所	内 容	出席人数 (人)
6月19日 (定時評議員会)	福祉センター	・令和元年度資金収支補正予算(第1次)について ・令和元年度事業報告の承認について ・令和元年度計算書類及び財産目録の承認について	評議員19 会長副会長3 常務1・監事2 事務局4
3月29日 (3月評議員会)	福祉センター	・諸規程の整備について ・令和2年度資金収支補正予算（第1次）の承認について ・令和3年度事業計画の承認について ・令和3年度資金収支予算の承認について	評議員16 会長副会長3 常務1・監事2 事務局2

○正副会長会

月 日	場 所	内 容	出席人数 (人)
5月26日	福祉センター	第1回理事会及び第2回理事会開催について	4
11月13日	福祉センター	第3回理事会開催について	4
1月14日	福祉センター	第4回理事会開催について	4
3月5日	福祉センター	第5回理事会開催について	4
3月25日	市役所分庁舎	第6回理事会開催について	4

○評議員選任・解任委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数 (人)
4月1日	福祉センター	評議員の選任について	委員4 会長1 常務1 事務局1
6月3日	福祉センター	評議員の選任について	委員4 会長1 常務1 事務局1

○監査

月 日	場 所	内 容	出席人数 (人)
5月21日	福祉センター	令和元年度法人運営・事業及び会計執行状況の監査	会長1・常務1 監事2・事務局5
11月9日	福祉センター	令和2年度中間監査	会長1・常務1 監事2・事務局5

○法人指導監査について

月 日	場 所	内 容	出席人数 (人)
10月30日	福祉センター	社会福祉法人指導監査（芦屋市監査指導課）	会長1・常務1 監事1・事務局5

○監事研修

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
1月21日	オンライン	市町社協経営セミナー（財務会計編）	監事2

○部会・委員会の開催状況

ア) 総務部会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
6月15日	分庁舎	プラスワン福祉基金規程の制定について	5

イ) 事業部会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
8月31日	福祉センター	プラスワン福祉基金による事業について意見交換	8

ウ) 編集検討委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
6月11日	福祉センター	・社協だより158号の振り返り ・社協だより159号の原稿内容について ・社協だより160号の記事内容について	6
8月19日	福祉センター	・社協だより159号の振り返り ・社協だより160号の原稿内容について ・社協だより161号の記事内容について	5
11月24日	福祉センター	・社協だより160号の振り返り ・社協だより161号の原稿内容について ・社協だより162号の記事内容について	5
3月9日	福祉センター	・社協だより162号の振り返り ・社協だより163号の原稿内容について ・社協だより164号の記事内容について	5

エ) 衛生委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
9月29日	書面決議	・介護現場におけるハラスメントと対策について	
10月29日	オンライン	・インフルエンザ予防接種について	10
11月26日	オンライン	・交通事故安全配慮及び交通事故防止について ・フレッシュアップ休暇の繰り越し対応について	9
12月23日	オンライン	・感染症対策の再徹底について	8
1月28日	オンライン	・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について	9
2月24日	オンライン	・パワーハラスメント防止への理解を深める	10
3月26日	オンライン	・健康を維持し長く働く体づくり	9

オ) プラスワン福祉基金 多世代交流拠点事業 準備委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
12月18日	福祉センター	事業運営費及び場所選定について	会長1・副会長1 常務1・理事2 市民2・事務局2

○第7次地域福祉推進計画評価委員会

令和3年6月設置予定

○県社協等の主催する会議への出席

月 日	場 所	名 称	内 容
7月10日	県福祉センター	第1回県内社協事務局長会議	・令和2年度県社協事業について ・生活福祉資金特例貸付の状況について ・コロナ禍における社協活動について ・ポストコロナ社会に向けた地域福祉の方向性
10月15日	猪名川町	第1回阪神7市1町社会福祉協議会会長・理事長会	・県社協からの情報提供 ・各市町社協からの情報提供依頼事項について
1月21日	オンライン	第2回県内社協事務局長会議	・社協財務会計の点検結果の報告と今後の留意点 ・市町社協を取り巻く情勢等について
2月25日	オンライン	経営基盤強化セミナー	・介護サービス事業経営における感染症発生時の B C Pの策定に向けて
3月8日	オンライン	地域公益活動推進セミナー	・地域共生社会における社会福祉法人連絡協議会 の役割 ・ほっとかへんネットの実践報告 ・コロナ禍における各地の取組について
3月16日	オンライン	重層的支援体制整備事業情報交換会	・重層的支援体制整備事業の概要 ・包括的支援体制整備事業の実施状況
3月16日	オンライン	第3回県内社協事務局長会議	・特例貸付の延長等と今後の対応について

○職員研修

ア) 総務係

月 日	場 所	名 称	参加者
7月21日	大阪	社会福祉法人会計の基礎実務	山岸
9月15日	大阪	計算書類の見方と財務分析	山岸

イ) 地域福祉係

月 日	場 所	名 称	参加者
7月8日	オンライン	新しいつながり事業を考えるオンラインセミナー ・新しいつながり事業について	宮平

11月6日～ 2月15日 (全4回)	ひょうごボラン タリープラザ他	官民の多様な被災者支援主体間の連携促進のための中核人材 育成研修	宮平
11月15日 ～1月11日 (全6回)	オンライン	生活困窮者自立支援全国研究交流大会 ・生活困窮者自立支援制度の課題を考える ・生活困窮者支援を軸にした包括的支援体制へのアプローチ 他	宮平・池原・ 寺岡
12月8日	オンライン	生活支援コーディネーター研究協議会 ・パネルディスカッション・情報交換会	池原・寺岡
12月14日	兵庫県農業共済 会館	第1回社協ワーカー実践研究会議・地域福祉推進計画の意義 と策定について	宮平・山岸
2月17日	兵庫県農業共済 会館	近畿ブロック社協災害支援研修 ・新型コロナウイルス感染症禍での災害支援における受援力 ・協働について・日頃の地域福祉活動と災害支援	宮平
2月18日	オンライン	コロナ禍におけるボランティア活動のくふうを学び合う・実 践報告	塚本
2月23日～ 28日 (全3回)	オンライン	市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研 究集会（テーマ：救援NPO×地縁組織、生協×社協、子ども ×福祉）	塚本・寺岡
3月1日	兵庫県民会館	生活支援コーディネーターフォローアップセミナー・第1層 Coと第2層Coの役割と連携について	池原・寺岡
3月1日	オンライン	災害ボランティアコーディネーター養成研修・災害時の初動 対応について	宮平・塚本
3月16日	オンライン	重層的支援体制整備事業情報交換会・重層的支援体制整備事 業の概要	宮平・山岸
3月18日	兵庫県農業共済 会館	第2回社協ワーカー実践研究会議・共生のまちづくりを進め る地域住民の主体形成	塚本・寺岡

ウ) 生活困窮者自立相談支援事業

月 日	場 所	名 称	
1月13日 14日	オンライン	生活困窮者自立相談支援事業ブロック別研修	田中・黒田
11月中旬 1月	オンライン	生活困窮者自立相談支援事業テーマ別（ひきこもり状態にあ る者への支援）人材養成研修	田中・黒田

工) 基幹相談支援センター

月 日	場 所	名 称	参加者
9月7日	兵庫県中央労働センター	障害者虐待対応力向上研修	三芳
10月9日	オンライン	8050問題と向き合う	三木
2月1日	オンライン	ひきこもりの理解と適切な支援	川上
3月22日	オンライン	相談支援フォローアップ圏域研修	三木

才) 障がい者相談支援事業所（一般相談）

月 日	場 所	名 称	参加者
9月9日	福祉センター	支援者向けペアトレーニング研修	天羽
3月2日	オンライン	健康な「性」発達と性行動の理解	安藤
3月10日	芦屋市民センター	おうちでの「できる」を増やそう	安藤
3月22日	オンライン	相談支援フォローアップ圏域研修	安藤・津田

力) 障がい者相談支援事業所（計画相談）

月 日	場 所	名 称	参加者
8月18日	兵庫県民会館	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	小林
9月8日	県立こども発達支援センター	発達障がいの基礎知識	安藤
11月11日～ 1月8日	福祉のまちづくり 研究所	兵庫県相談支援従事者初任者研修	佐野
12月14日～ 3月31日	福祉のまちづくり 研究所	兵庫県相談支援従事者初任者研修	天羽

キ) 権利擁護支援センター事業

月 日	場 所	名 称	参加者
3月20日	オンライン	にしのみや権利擁護推進フォーラム	見崎

ク) 生活福祉資金貸付事業

月 日	場 所	名 称	参加者
2月9日	オンライン	生活福祉資金貸付担当者会議 ・生活困窮者支援をめぐる情勢動向	三谷

ケ) 日常生活自立支援事業

月 日	場 所	名 称	参加者
2月3日	オンライン	日常生活自立支援事業専門員会議 ・日常生活自立支援事業と権利擁護を取り巻く情勢	吉田・野口

3月2日	オンライン	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ ・専門員にお止められる視点と事例検討のポイント	吉田・野口
------	-------	---	-------

○市関係会議への出席

ア) 役員出席

- ・芦屋市社会福祉審議会
- ・芦屋市社会福祉審議会地域福祉部会
- ・芦屋市地域福祉推進協議会
- ・芦屋市民生委員推薦会
- ・芦屋市すこやか長寿プラン21策定委員会
- ・芦屋市すこやか長寿プラン21評価委員会
- ・芦屋市地域密着型サービス運営協議会
- ・芦屋市障害計画策定委員会
- ・芦屋市自立支援協議会
- ・芦屋市権利擁護支援システム推進委員会
- ・芦屋市人権教育推進協議会
- ・芦屋市子ども・子育て会議
- ・“社会を明るくする運動”芦屋市推進委員会
- ・芦屋市要保護児童対策地域協議会 代表者会

イ) 事務局出席

- ・芦屋市社会福祉審議会
- ・芦屋市社会福祉審議会地域福祉部会
- ・芦屋市地域福祉推進協議会
- ・芦屋市市民参画協働推進会議
- ・生活困窮者自立支援推進協議会
- ・芦屋市障がい者差別解消支援地域協議会
- ・芦屋市自立支援協議会
- ・芦屋市要保護児童対策地域協議会 実務者会
- ・芦屋市消費者教育推進地域協議会
- ・芦屋市地域包括支援センター運営協議会
- ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会

○その他関係会議への出席

- ・芦屋市民生児童委員協議会
- ・芦屋市介護サービス事業者連絡会
- ・芦屋市戦没者追悼式
- ・芦屋市敬老会
- ・芦屋市立みどり地域生活支援センター運営協議会

○社会福祉法人の社会貢献事業や公益的事業の推進

月 日	場 所	名 称	内 容
8月25日	市役所分庁舎	芦屋市社会福祉法人連絡協議会について説明会	・趣旨説明、意見交換 他
11月30日	福祉センター	設立準備会	・協議会設立について ・規約について ・今後の活動について
3月11日	福祉センター	芦屋市社会福祉法人連絡協議会設立総会	・役員の選出・規約及び事業計画等 ・基調講演 県社協 ・実践報告 あしや聖徳園 ・パンフレットの発行

○情報発信の充実

事業名	内 容
社協だよりの発行	・社協だより編集委員会（社協理事、地区福祉委員会代表で構成）を開催し記事等内容の検討を行い、4月・7月・10月・1月の4回発行。 ・地域の実情の把握のため、地区福祉委員会や自治会等の協力によりポスティングによる全戸配布を行った。43,863部（7月号部数）
ホームページの活用	・職員募集情報、その他事業活動の状況など情報発信、訪問介護係による介護予防のための動画配信、ホームページリニューアル

○会員会費制のPR

種 别	1 口金額（円）	会員数（件）	会費金額（円）
普通会員	1,000	370	420,000
団体会員	3,000	59	201,000
賛助会員	1,000	12	30,000
特別会員	5口以上及び団体会員は1万円以上	33	290,000
合 計			941,000

○寄附金受入

月 日	金 額	氏 名（敬称略）
4月17日	10,000 円	久次米 氏
5月27日	10,000 円	NK 氏
6月19日	10,000 円	内田 氏
10月22日	10,000 円	漣 氏
12月15日	3,000 円	村田 氏
12月25日	20,000 円	国際ソロプロチミスト
2月1日	100,000 円	佐藤 氏

2月8日	10,000円	NK 氏
2月17日	34,807円	芦屋海岸通高齢者和の会
3月13日	50,000円	緑川 氏
合 計	257,807円	

※国際ソロプチミスト芦屋からの寄附金は、「ほほえみ支援基金」を設置し、生活困窮者世帯の児童への支援に活用。

○特別寄附

月 日	金 額	氏 名（敬称略）
6月1日	1億円	匿名法人

※プラスワン福祉基金を設置し、居場所づくり事業及び人材育成事業に活用。

○寄附物品等

- ・コープこうべ「ハートフル基金」による米、レトルトカレーの寄付
- ・三田谷治療教育院より靴の寄付
- ・吳川町自主防災・防犯会よりマスクの寄付
- ・甲南高等学校よりタブレットの寄贈
- ・打出小槌町自主防災・防犯会よりレトルトカレーの寄付

8 共同募金運動

○共同募金運動の実施協力（令和2年10月1日～12月31日）

10月1日街頭募金	社協理事 9名参加
12月8日街頭募金	共同募金理事 8名参加

○共同募金実績

(単位：円)

		一般募金	歳末たすけあい募金	合 計
目標額		9,000,000	1,500,000	10,500,000
実績額		6,942,162	981,783	7,923,945
内 訳	戸別募金	4,419,632	742,533	5,162,165
	法人募金	1,448,090	197,300	1,645,390
	街頭募金	235,894	27,004	262,898
	学校募金	307,132	0	307,132
	職域募金	238,582	14,506	253,088
	イベント募金	19,700	0	19,700
	個人募金	94,538	440	94,978
	その他	178,594	0	178,594
前年度繰越金		0	117,939	117,939

○共同募金運動期間延長の取り組み（令和3年1月1日～3月31日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

○義援金の募集 令和元年度台風19号災害義援金 997円
令和2年度豪雨災害義援金 2,446円

○歳末たすけあい運動

配分金内訳		配分額（円）
経済的支援世帯	25世帯	632,000
高齢者福祉施設団体等支援	1団体	20,000
障がい者福祉施設団体等支援	4団体	80,000
児童福祉施設団体等支援	0	0
ひとり親家庭支援	0	0
社会福祉活動団体等支援	0	0
合 計		732,000